

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月10日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7851 URL <http://www.kc-s.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽山 政彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役営業本部長 (氏名) 川瀬 康平 (TEL) (06)6222-7474
 兼最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	947	6.8	12	—	38	—	34	—
23年3月期第1四半期	887	△3.0	△5	—	△12	—	△17	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	7 09	— —
23年3月期第1四半期	△3 66	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,656	3,519	75.6
23年3月期	4,619	3,530	76.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,519百万円 23年3月期 3,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	— —	0 00	— —	10 00	10 00
24年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
24年3月期(予想)	— —	0 00	— —	10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,764	5.6	19	—	19	—	15	—	3.10
通期	3,600	12.5	48	—	48	—	39	—	8.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	5,160,000株	23年3月期	5,160,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	321,281株	23年3月期	321,281株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	4,838,719株	23年3月期1Q	4,839,520株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災後に大きく落ち込みましたが、サプライチェーンが当初の見通しを上回るペースで修復されたこと、また、電力問題も当初懸念されていたほどには経済活動の大きな制約とはなっていないなど、先行きの不透明感はぬぐえないものの、震災直後に比べると持ち直しつつあるものと思われま

す。ビジネスフォーム業界におきましては、震災後の製紙メーカーの被災による原紙の不足や国内景気の悪化により紙から電子媒体へのシフトが進んだことから、依然使用量が減少したままであり、更に価格競争が激化したため、経営環境は厳しいものがありました。

このような環境下で、営業面では首都圏を中心に情報処理案件の獲得を目指した提案型営業の展開と案件ごとの個別価格対応による新規取引先ならびに既存取引先の売上拡大、採算の悪い取引先の価格の見直しなどの営業活動を行ってまいりました。生産面では、生産効率改善や内製化による利益改善等、印刷から情報処理へのシフトを図るとともに、夏場の電力不足に備え省エネ設備の導入の検討や節電対策を推進しております。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は947百万円（前年同期は887百万円の売上）、営業利益は12百万円（前年同期は5百万円の営業損失）、経常利益は助成金収入があったため38百万円（前年同期は12百万円の経常損失）となりました。また、四半期純利益は34百万円（前年同期は17百万円の純損失）と増収増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ビジネスフォーム事業

景気低迷による総需要の減少、価格競争の激化の影響により、売上高600百万円（前年同期は654百万円の売上）、セグメント利益は52百万円（前年同期は38百万円の利益）の利益となりました。

② 情報処理事業

金融関連の需要減の影響がありましたものの、幅広く新規案件獲得に向け活動を行いました結果、売上高347百万円（前年同期は233百万円の売上）、セグメント利益は63百万円（前年同期は62百万円の利益）の利益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間における流動資産は前事業年度末と比べ88百万円増加し、2,487百万円となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が109百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が23百万円、「未収入金」が15百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が76百万円減少したことによるものです。固定資産は前事業年度末と比べ51百万円減少し、2,169百万円となりました。これは主に「有形固定資産」が50百万円、「無形固定資産」が6百万円それぞれ減少した一方で、「投資その他の資産」が6百万円増加したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ55百万円増加し、845百万円となりました。これは主に「短期借入金」が30百万円、「賞与引当金」が17百万円それぞれ減少した一方で、流動負債「その他」に含まれる未払金が54百万円増加したことによるものです。固定負債は前事業年度末と比べ8百万円減少し、291百万円となりました。これは主に固定負債「その他」に含まれるリース債務が10百万円減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ10百万円減少し、3,519百万円となりました。これは主に利益剰余金が14百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に開示した業績予想につきまして現時点における修正はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,688,147	1,611,504
受取手形及び売掛金	524,189	633,973
有価証券	71,601	67,730
商品及び製品	36,713	47,310
仕掛品	13,819	11,176
原材料及び貯蔵品	34,403	44,800
その他	30,142	70,699
貸倒引当金	△111	△135
流動資産合計	2,398,905	2,487,062
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	499,392	483,728
土地	539,125	533,457
その他(純額)	577,936	548,327
有形固定資産合計	1,616,454	1,565,513
無形固定資産	111,764	105,151
投資その他の資産	492,477	498,580
固定資産合計	2,220,696	2,169,245
資産合計	4,619,601	4,656,308
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,118	189,624
短期借入金	436,640	406,640
未払法人税等	11,153	2,688
賞与引当金	42,988	25,893
その他	135,519	220,302
流動負債合計	789,419	845,148
固定負債		
長期借入金	13,360	11,700
退職給付引当金	35,153	37,370
役員退職慰労引当金	24,026	26,066
その他	226,903	216,238
固定負債合計	299,443	291,374
負債合計	1,088,863	1,136,522

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,226,650	1,226,650
資本剰余金	1,172,655	1,172,655
利益剰余金	1,216,571	1,202,500
自己株式	△80,126	△80,126
株主資本合計	3,535,750	3,521,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,012	△1,894
評価・換算差額等合計	△5,012	△1,894
純資産合計	3,530,738	3,519,785
負債純資産合計	4,619,601	4,656,308

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	887,643	947,819
売上原価	675,723	707,144
売上総利益	211,920	240,675
販売費及び一般管理費	217,431	228,567
営業利益又は営業損失(△)	△5,511	12,107
営業外収益		
受取利息	1,384	384
受取配当金	762	935
助成金収入	8,287	30,282
その他	2,886	3,616
営業外収益合計	13,320	35,218
営業外費用		
支払利息	3,430	3,706
投資有価証券評価損	15,252	3,870
その他	2,064	1,551
営業外費用合計	20,747	9,128
経常利益又は経常損失(△)	△12,938	38,196
特別利益		
固定資産売却益	5,622	585
特別利益合計	5,622	585
特別損失		
投資有価証券評価損	6,970	43
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,159	—
損害賠償金	—	2,206
その他	405	—
特別損失合計	11,535	2,249
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△18,851	36,532
法人税、住民税及び事業税	2,152	2,217
法人税等調整額	△3,298	—
法人税等合計	△1,145	2,217
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,705	34,315

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	654,244	233,398	887,643	—	887,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	654,244	233,398	887,643	—	887,643
セグメント利益	38,020	62,543	100,563	△106,075	△5,511

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は財務諸表の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	ビジネスフォー ム事業	情報処理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	600,487	347,331	947,819	—	947,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	600,487	347,331	947,819	—	947,819
セグメント利益	52,935	63,173	116,109	△104,001	12,107

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は財務諸表の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、ビジネスフォーム事業での帳票印刷後、情報処理事業でデータ印字をする場合、売上高及び売上原価を全て情報処理事業で計上していましたが、当第1四半期累計期間より、各事業のセグメント利益をその製品及びサービス内容に応じてより明確に管理するため、それぞれのセグメントの売上及び売上原価として把握し、管理する方法へと変更しております。また、従来、営業費用は全て各事業に配分していましたが、本社管理部門費用については、全社で負担することで、各事業セグメント利益をより適切に管理する方法へと変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報についても、当第1四半期累計期間のセグメント情報と同様の測定方法により作成し直しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。